

〈速報版〉

1.調査概要

目的 : 「(仮称) 千葉県こども計画」策定にあたり、計画の内容にこどもの意見を反映させるとともに、今後の施策の参考とするため、こどもの意見を幅広く聴取すること。

設問 : 21 問 (個人属性、こどもの権利の認知度と感じ方、こどもの権利を守るためにあると良い仕組み、将来の希望、安心して自分らしく暮らすために必要なこと)

対象 : 千葉県内の調査協力校に通う 小学 5 年生～高校 3 年生 約 50,000 人

方法 : Web アンケート

期間 : 令和 6 年 7 月 1 日～令和 6 年 7 月 17 日

回答数 : 35,281 人 目安回答率^{※1} = 約 70.7%

※1 : 目安回答率=回答数/チラシ配布数

2.アンケート集計結果

(1) こどもの権利の認知度

- 「こどもの権利」について、聞いたことがある児童・生徒 : 約 78%
- そのうち、内容も知っている児童・生徒 : 約 20%

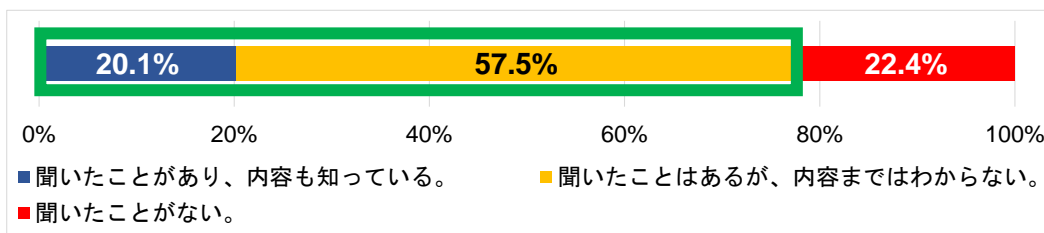


図 こどもの権利の認知度

(2) こどもの権利の感じ方

- 4つの原則^{※2}の権利が守られていると感じている児童・生徒 : 約 80%

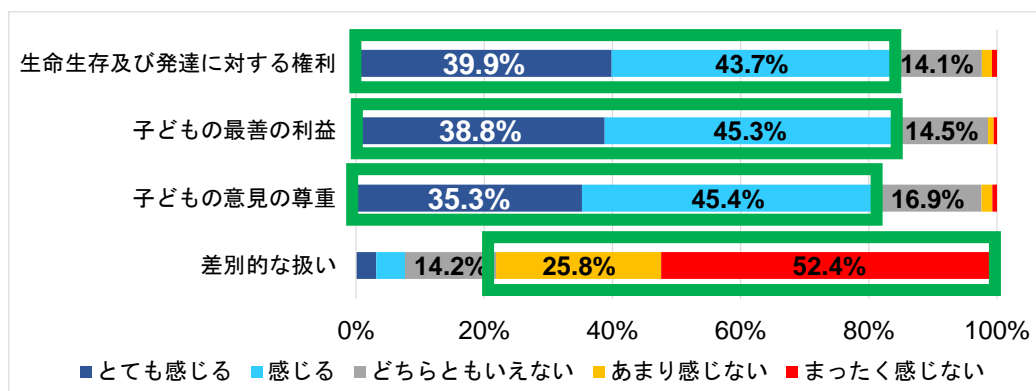
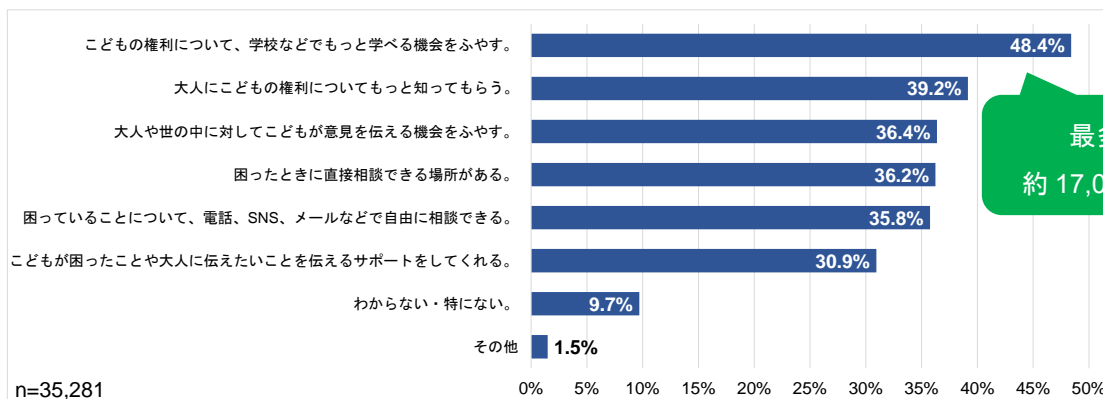


図 こどもの権利の4つの原則の感じ方

※2 【子どもの権利条約のいわゆる4つの原則】
①生命、生存及び発達に対する権利 ③子どもの意見の尊重
②子どもの最善の利益 ④差別の禁止

(3) こどもの権利を守るためにあると良い仕組み（複数選択式 3 つまで）

- 「こどもの権利について、学校などでもっと学べる機会をふやす。」と回答した児童・生徒が最も多く、**約 48%**



最多
約 17,000 人

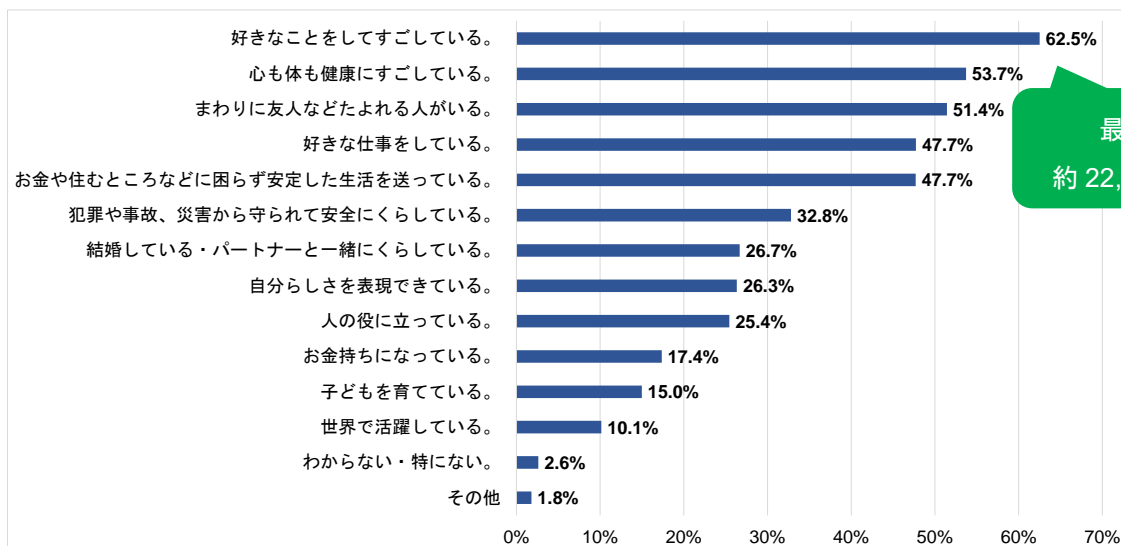
図 こどもの権利を守るためにあると良い仕組み（複数選択）

クロス集計の特徴的な結果

- **小学生**は「困ったときに直接相談できる場所がある」を選択する割合が全体に比べて高い。（約 44%）
- **中学生**は「困っていることについて、電話、SNS、メールなどで自由に相談できる」を選択する割合が全体に比べて高い。（約 38%）

(4) 将来の希望（複数選択式 5 つまで）

- 将来は「好きなことをすごしている。」希望がある児童・生徒が最も多く、**約 63%**



最多
約 22,000 人

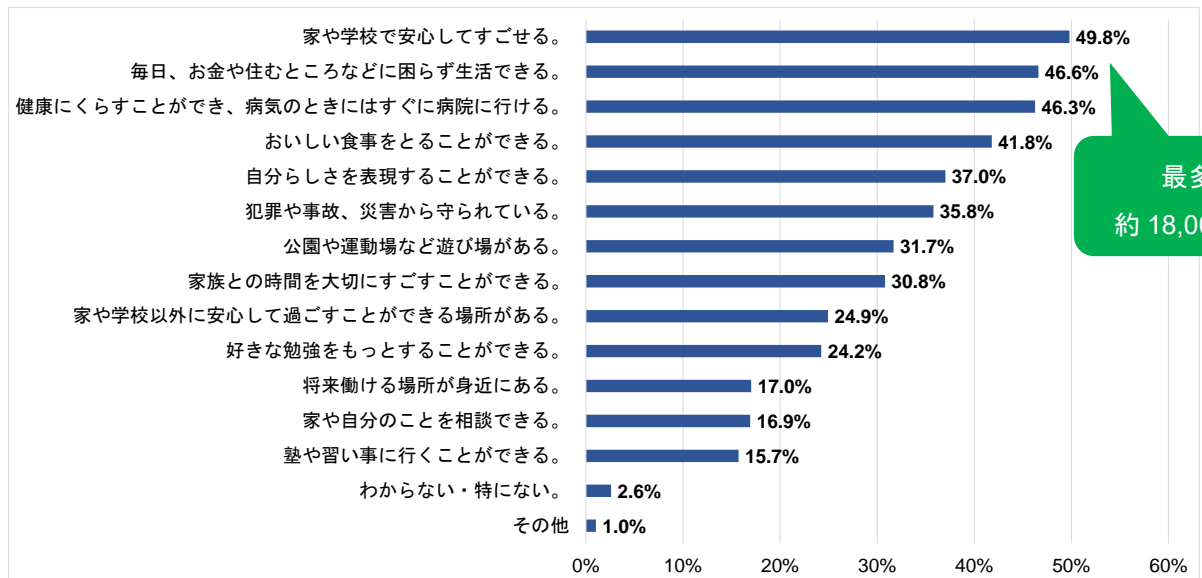
図 将来の希望（複数選択）

クロス集計の特徴的な結果

- **学年が上がるにつれて「子どもを育てている」状態にいたいと思う人の割合が低くなる。**（小学生 約 23%、中学生 約 12%、高校生 約 11%）

(5) 安心して自分らしく暮らすために必要なこと（複数選択式5つまで）

- 「家や学校で安心して過ごせる。」と回答した児童・生徒が最も多く、約50%



最多
約 18,000 人

図 安心して自分らしく暮らすために必要なこと（複数選択）

クロス集計の特徴的な結果

- **小学生**は「公園や運動場など遊び場がある」を選択する割合が全体に比べて高い。（約41%）
- **中高生**は「毎日、お金や住むところに困らず生活できる」を選択する割合が全体に比べて高い。（約48%）
- **性別「その他」**と回答した児童・生徒は「自分らしさを表現することができる」を選択する割合が全体に比べて高い。（約45%）